

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
総合実習 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	角田光代			実務 経験	有	職種	インテリアデザイナー				
担当教員紹介											
建築士として、住宅・店舗の意匠設計に12年間携わり、インテリアデザインにこだわる仕事をしてきました。現在は専任教員として自身の経験をインテリアデザインへの興味が広がる授業になるよう展開しています。											
授業概要											
現状調査、問題発見・解決目標設定、具体的な提案から成るデザインプロセスを、実践を通して体験していく。そして社会的に機能し得るデザイン及びそのプロセスの提案を目指すと同時に、デザインの遂行に必要な能力を高めることが目的である。											
到達目標											
デザイン目標の設定、デザインの実施、デザイン案の提示を行う。作品制作を通じて、観察力や創造力や表現力の育成を実践を通じて体験しデザインに必要な能力を高めることを目標とする。											
授業方法											
この授業では、後期の総合的なまとめとして課題制作を行う。発案、リサーチ、制作相談、検証、発表、評価を行い、デザインクオリティの向上を心がける。円滑なコミュニケーションに基づきデザイナーとして集中した制作ができるようになることを目指す。											
成績評価方法											
思考力 表現力 制作物（提出成果物） プレゼンテーション力 授業への意欲 の他、成果物、プレゼンテーションまでに至る経過を評価します。											
履修上の注意											
この授業では、より良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。制作にあたってはデザイナーとして各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。 授業時数の4分3以上出席しない者は合格することができない。											
教科書教材											
必要に応じて参考資料等を配布											
回数	授業計画										
第1回	理解：調査：求められていることを理解する、課題に基き、調査を行う										
第2回	調査・立案：調査結果から課題に必要な企画を立案する										
第3回	調査・立案：調査結果から課題に必要な企画を立案する										
第4回	企画書作成：立案した企画を想定したターゲットに向けた計画書としてまとめる										
第5回	企画プレゼンテーション：企画書を具体的にわかりやすくプレゼンテーションする										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
総合実習 4	
第6回	制作作業1 : 課題を表現するためのビジュアルを制作
第7回	制作作業2 : 課題を表現するためのビジュアルを制作
第8回	制作作業3 : 課題を表現するためのビジュアルを制作
第9回	制作作業4 : 課題を表現するためのビジュアルを制作
第10回	進捗チェック : 担当教員と確認をして作業工程の確認をする
第11回	制作作業5 : 課題を表現するためのビジュアルを制作
第12回	制作作業6 : 課題を表現するためのビジュアルを制作
第13回	制作作業7 : 課題を表現するためのビジュアルを制作、プレゼンテーションの準備をする
第14回	プレゼンテーション : プレゼンテーションリハーサルを行う
第15回	プレゼンテーション : 最終プレゼンテーション